

コレクション展2014/15—冬

特集 コレクション／ドネーション

2014（平成26）年12月16日（火）—2015（平成27）年2月22日（日）

出品目録

出品作品についておよその展示順に、作者名（欧文／生没年）、作品名、制作年、技法材質、寸法（cm）、寄贈者などについて記載しています。

都合により出品作品を変更する場合があります。

美術館は、誰もが美術に触れられるように、作品を集め、守り、展示する場所とされています。歴史を振り返ると、作品を集めた人が、それを一般に公開することから多くの美術館が生まれてきました。大英博物館やルーブル美術館は、個人や王家のコレクションが基礎になっています。また、日本でも例えば大原美術館は大原孫三郎の、国立西洋美術館は松方幸次郎の集めた作品を元に設立されました。

一方で戦後の日本では、コレクションを持たない展示会場として出発する美術館もありました。当館もそのような美術館の一つに他なりません。しかし、50年にわたる活動の中で徐々に収蔵作品の充実をはかり、現在は約14000点の作品を収蔵しています。当館が収蔵する作品の中で大きな比重を占めているのが、ご寄贈いただいた作品です。その数は全作品中の8500点以上、60パーセントに達しています。

ご寄贈の内容や点数は様々ですが、好きで集めた作品を広く見ていただくことで社会に貢献したいという意思をもって、当館にご寄贈くださった作品が多く含まれています。この展覧会では、いくつかの個人コレクションに基づく作品を紹介します。美術館には作品収集の方針があります。ご寄贈いただいた作品はいずれもそれをより充実させ、コレクションに一層の広がりを与えてくれるものです。

玉井コレクション

玉井一郎氏（1926-2003）から数度に分けてご寄贈を受けた作品です。玉井氏は阪南市に生まれ、和歌山市で医師を務めるかたわら、当館友の会会長をはじめ様々な役職を歴任し、県の文化振興に寄与されました。当館には瑛九や原勝四郎など、279点にのぼる作品をご寄贈いただきましたが、中でも13点を数える佐伯祐三の作品は、若くしてパリに歿した画家の生涯を通覧できる重要なものです。

マンズー, ジャコモ (MANZÙ, Giacomo / 1908– 1991)

《ジュリア像》	制作年不詳	ブロンズ	60.0×70.0×64.0
---------	-------	------	----------------

佐伯 祐三 (SAEKI Yuzo / 1898– 1928)

《帽子をかぶる自画像》	1922 (大正11)	油彩、キャンバス	73.3×53.9
《オワーズ河周辺風景》	1924 (大正13)	油彩、キャンバス	45.5×53.0
《広告のある門》	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2
《レ・ジュ・ド・ノエル》	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8
《パリの街角》	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	65.0×41.5
《下落合風景》	1926 (大正15/昭和元) 頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4
《オプセルヴァトワール附近》	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8
《モラン風景》	1928 (昭和3)	油彩、ボード	38.0×44.5

グレコ, エミリオ (GRECO, Emilio / 1913– 1995)

《病人を看護する》	1963 (昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0
-----------	-------------	------	------------------

(リーディング・コーナーに展示)

森コレクション

森林平氏（1921-2005）から平成13年度にご寄贈いただいた作品です。和歌山県すさみ町出身の森氏は、森精機製作所を創業し、工作機械製造のトップ企業に育てた人物でした。卒業された和歌山県師範学校の跡に建った当館に、故郷への恩返しとして、ご自身が集められた20世紀のフランス・モダニズムの流れを汲む作品と、近代洋画の秀作10点を寄贈されました。

松田 文雄（MATSUDA Fumio／1908– 1971）

《老鍛冶屋》 1940（昭和15） 油彩、キャンバス 162.0×94.5

デュフィ, ラウル（DUFY, Raoul／1877– 1953）

《コンポティエのある静物》 1940（昭和15）頃 油彩、キャンバス 65.2×81.2

ヴァン・ドンゲン, キース（VAN DONGEN, Kees／1877– 1968）

《黒い服の婦人》 1910年代 [推定] 油彩、キャンバス 144.5×113.0

島村 三七雄（SHIMAMURA Minao／1904– 1978）

《カジノ・ド・パリの踊り子》 1936（昭和11） 油彩、キャンバス 80.5×65.0

篠田夫妻コレクション

和歌山市内で医師として仕事をされた篠田博之氏（1929-2011）とめぐみ氏（1938-2009）ご夫妻は、文化財保護などにも取り組まれましたが、優れた作品の公開を進める意図から、平成6年度以降数度に分けてご所蔵の作品を寄贈くださいました。その内容はルオーをはじめ、それまでに当館では収蔵できていなかった梅原龍三郎ら日本近代の洋画など21点となっています。

ルオー, ジョルジュ（ROUAULT, Georges／1871– 1958）

《サーカスの娘》 1937（昭和12） 油彩、キャンバス 9.2×9.3

《サタン》 制作年不詳 油彩、板 38.9×26.0

朝井 閑右衛門 (ASAI Kanemon / 1901– 1983)

《サーカス之図》 1968 (昭和43) 油彩、板 30.0×37.7

梅原 龍三郎 (UMEHARA Ryuzaburo / 1888– 1986)

《静浦 (口野) 風景》 1929 (昭和4) 油彩、キャンバス 60.8×50.1

香月 泰男 (KAZUKI Yasuo / 1911– 1974)

《鯉魚》 1958 (昭和33) 頃 油彩、キャンバス 26.8×45.5

安井 曾太郎 (YASUI Sotaro / 1888– 1955)

《 [桃] 》 制作年不詳 水彩、紙 26.1×36.2

杉本 健吉 (SUGIMOTO Kenkichi / 1905– 2004)

《仮面》 制作年不詳 油彩、紙 51.9×39.3

鴨居 玲 (KAMOI Rei / 1928– 1985)

《LOVE》 1980 (昭和55) 頃 油彩、キャンバス 61.0×41.2

井上 永悠 (INOUE Eiyu / 1898– 1978)

《南瓜》 1955– 59 (昭和30– 34) 顔料、紙 33.8×43.2

(『コレクション展2014/15—冬』「和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術」のコーナーに展示)

ブリッジ

近代以降の版画コレクションは、当館の収集の柱の一つですが、評価されにくい若手版画家の作品をさらに充実させることを目指して、作品を収集し寄贈いただいた匿名のグループです。北川健次、野田哲也、木村秀樹、山本容子ら、活動を始めた当初は若手だった作家たちは、現在も活躍を続け、現代版画の重要な作家として認められています。

加納 光於 (KANO Mitsuo / 1933–)

《PENINSULAR 半島状の! No.18》 1967 (昭和42) メタルプリント、紙 66.6×47.0

北川 健次 (KITAGAWA Kenji/1952-)			
《ドリアンの鍵》	1979- 80 (昭和54- 55)	銅版、紙	46.8×36.7
野田 哲也 (NODA Tetsuya/1940-)			
《日記 1980年7月11日、成田へ》			
	1980 (昭和55)	木版、スクリーンプリント、紙	43.6×65.1
木村 秀樹 (KIMURA Hideki/1948-)			
《Glass Angel 2》	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	76.3×56.5
中路 規夫 (NAKAJI Norio/1949- 2014)			
《Paper on the Paper 6P# Caribbean Sea》			
	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	55.6×75.6
田中 孝 (TANAKA Takashi/1948-)			
《Corner》	1978 (昭和53)	シルクスクリーン、紙	49.8×75.0
安東 菜々 (ANDO Nana/1948-)			
《Work H-24》	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	54.4×73.5
《Work H-25》	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	47.9×73.5
山本 容子 (YAMAMOTO Yoko/1952-)			
《Joke, Juice, Journey》	1977 (昭和52)	銅版、紙	45.2×59.7
《To the park》	1978 (昭和53)	銅版、紙	45.3×59.8

田中恒子コレクション

田中恒子氏（1941- ）が収集された作品をご寄贈いただいたものです。住居学の研究者であった田中氏は、現代美術と一緒に暮らすことを実践されていましたが、作品の保存と公開を考え、社会へ貢献する方法として当館に寄贈されました。860点を数える作品は多様なものですが、ここでは若い作家を応援する意図をもって収集された作品を中心に紹介します。

野田 裕示（NODA Hiroji／1952- ）

《WORK 372》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×17.5
《WORK 387》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×18.0
《WORK 388》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×18.0
《WORK 420》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×18.0
《WORK 427》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×18.0
《WORK 460》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×17.5
《WORK 525》	1988（昭和63）	アクリル、キャンバス	21.5×18.0

野村 仁（NOMURA Hitoshi／1945- ）

《内部構造：弦3》	1996（平成8）	ガラス、大理石	40.0×74.0×43.8
-----------	-----------	---------	----------------

手塚 愛子（TEZUKA Aiko／1976- ）

《縫う絵》	2005（平成17）	布、糸	直径67.0
-------	------------	-----	--------

児嶋 サコ（KOJIMA Sako／1976- ）

《KICK ME》	2000（平成12）	フェイクファー、ソフトラバー、発泡ウレタン、待ち針、他	38.0×50.0×90.0
-----------	------------	-----------------------------	----------------

染谷 聡（SOMEYA Satoshi／1983- ）

《縁鹿（サイクルジカ）》	2008（平成20）	漆、乾漆技法、薬莖、鹿の角、金銀、他	80.0×55.0×45.0
--------------	------------	--------------------	----------------

大西 伸明（ONISHI Nobuaki／1972- ）

《syake》	2004（平成16）	エポキシ樹脂、アクリル絵具	1.5×16.0×9.0
《katorisenkou》	2004（平成16）	エポキシ樹脂、アクリル絵具	0.5×11.0×10.6

小泉 雅代 (KOIZUMI Masayo / 1959-)

《KAGAMIMOCHI 〈PINK〉》 2002 (平成14) 石粘土、カシュー、アクリル絵具他
24.0×36.0×36.0

《KAGAMIMOCHI 〈BLACK〉》 2002 (平成14) 石粘土、カシュー、
アクリル絵具 21.0×25.0×25.0

名和 晃平 (NAWA Kohei / 1975-)

《PixCell - Sheep》 2002 (平成14) ミクストメディア 80.0×37.0×124.0

西田 潤 (NISHIDA Jun / 1977- 2005)

《No.3-A 絶》 2001 (平成13) 磁土、釉薬 74.0×74.0×66.0

奈良 美智 (NARA Yoshitomo / 1959-)

《どんまいQちゃん》 1993 (平成5) 木、彩色 123.0×37.5×43.5

村上 隆 (MURAKAMI Takashi / 1962-)

《DOBのマーチ (マケット)》 1995 (平成7) 発泡スチロール、ペイント、紙
12.0×15.0×9.0

北尾 博史 (KITAO Hiroshi / 1967-)

《アシモトノセカイ》 1999 (平成11) 銅、鉄 200.0×500.0×500.0
(屋外、建物の北西に設置)

ヴォーゲル夫妻コレクションの作家たち

ハーバードとドロシーのヴォーゲル夫妻は、映画『ハーブ&ドロシー』で紹介されたことで一躍注目を集めました。彼らが収集を始めた当時、まだほとんど認められてなかった作家たちは、今日では美術の重要な潮流を形づくったものとして高く評価されており、世界中の美術館に作品が収集されています。当館の収蔵作品から、ヴォーゲル・コレクションに含まれている作家を紹介します。

ケージ, ジョン (CAGE, John / 1912- 1992)

《Déreau #9》 1982 (昭和57) 銅版、紙 46.0×63.2

《Déreau #13》	1982 (昭和57)	銅版、紙	46.6×63.1
《Déreau #16》	1982 (昭和57)	銅版、紙	46.2×63.1
ボイス, ヨーゼフ (BEUYS, Joseph/1921- 1986)			
《ジョナス・メカスの映画美術館のためのポートフォリオ 12 無題》	1982 (昭和57)		
シルクスクリーン、紙		左 : 34.4×25.4/34.3×25.5×右	
アンドレ, カール (ANDRE, Carl/1935-)			
《ジョナス・メカスの映画美術館のためのポートフォリオ 2 ユカタン》			
1973-82 (昭和48-57)	ゼロックス、紙	25.2×18.8	
ルウィット, ソル (LEWITT, Sol/1928- 2007)			
《《6つの幾何学的図形とそれらのすべての組み合わせ》のための素描》 10点			
1980 (昭和55)	鉛筆、紙	23.4×23.0	大谷芳久氏寄贈
《6つの幾何学的図形とそれらのすべての組み合わせ》			
1980 (昭和55)	銅版、紙	23.8×24.7×4.8 (冊子)	
ジャッド, ドナルド (JUDD, Donald/1928- 1994)			
《無題》	1988 (昭和63)	アルミニウム	30.0×210.4×30.0
クリスト (CHRISTO/1935-)			
《囲まれた島々/フロリダ州マイアミ、ビスケーン湾のためのプロジェクト》			
1983 (昭和58)	鉛筆、パステル、布、紙、他	144.6×165.0	
クロス, チャック (CLOSE, Chuck/1940-)			
《自画像》	1983 (昭和58)	ペーパーパルプ、キャンバス	137.2×101.6
マンゴールド, ロバート (MANGOLD, Robert/1937-)			
《三つのアクアチント : A 赤》	1979 (昭和54)	アクアチント、紙	83.2×83.5
《三つのアクアチント : B オレンジ》	1979 (昭和54)	アクアチント、紙	91.2×83.3
《三つのアクアチント : C 黄色》	1979 (昭和54)	アクアチント、紙	45.5×129.0